

平成13年度事業報告

1. 学術集会の開催

社団法人 日本動物学会第72回学会大会
九州産業大学(福岡市東区)
10/6日(土)~10/8日(月)参加者数 1073名 演題数 653題
公開講演会「有明海を考える」
国際シンポジウム「New perspective for Zoology」
中・高校生ポスタ-発表 演題数 4題

2. 全国7支部における支部大会およびシンポジウムの開催

- 1/20 「どうなる、三宅島の自然？」動物学会・東京都主催
東京都庁第一本庁舎5階 大ホール
後援 環境省、朝日新聞社、日本生態学会、ヒトと動物の関係学会
日本鳥学会、日本魚類学会、(社)日本水産学会、(社)日本植物学会、日本植生学会
参加者数 約560人
演題 噴火の特徴と今後 濱田 隆士
海洋環境への影響 ジャック・モイヤ-
鳥たちは今 山本 裕
噴火と植生 上條 隆志
総合討論 司会 樋口 広芳
- 3/30 関東支部大会 東邦大学理学部2号館 172人 演題数 51
- 5/12 近畿支部研究発表会 神戸大学
- 5/12 中国四国支部大会 山口大学
- 5/19-20 九州支部大会 佐賀大学理工学部大学院棟
- 5/20 九州支部沖縄例会(沖縄生物学会と共催) 沖縄国際大学
- 7/20 東北支部公開ワ-クショップ「親と子の観察会-プランクトンから水環境を考える」
- 7/21 東北支部大会 秋田大学 教育文化学部3号館
- 7/21 関東支部主催「動物たちの会話-その不思議な感覚世界を探る-」
早稲田大学国際会議場 井深ホ-ル
共催 早稲田大学人間総合研究センター
- 8/18 北海道支部大会 大沼国際セミナーハウス

3. 学会誌「ZOOLOGICAL SCIENCE」の発行

18巻1号~9号及び補遺の計10冊
邦文誌「生物科学ニュース」発行
349号から360号までの計12冊

4. 研究の奨励

日本動物学会賞 2件

筒井 和義(広島大学総合科学部)「脳におけるニューロステロイドの合成と作用」

池上 晋(広島大学生物生産学部)「ヒトデの生殖・胚発生過程に関する細胞生理化学的研究」

日本動物学会奨励賞 3件

和田 洋(京都大学大学院理学研究科)「脊椎動物の進化の背景にある遺伝子レベルの進化に関する研究」

谷 知己(東京都臨床医学総合研究所)「ゾウリムシ収縮胞をモデルとした細胞膜ダイナミクスの研究」

田村 宏治(東北大学大学院生命科学研究科)「四肢形態形成の分子機構と進化」

動物学会OM賞 2件

定本 久世(北海道大学大学院理学研究科)「軟体動物を用いた学習記憶機構における転写調節因子の機能解析」

松下 智子 (奥羽大学歯学部)「魚類味覚 MSG, MSA リセプターのクローニング」

江上基金 2件

邱 旭東 (横浜市立大学大学院総合理学研究科)(第6回ニューロエソロジー国際会議, ボン)

佐倉 緑 (北海道大学電子科学研究所)(第6回ニューロエソロジー国際会議, ボン)

安増基金 2件

グラナツネ・ジャヤンタ (東京工業大学)「Gordon Research Conference-Glycobiology」

谷口 俊介 (東北大学)「ウニの発生における神経節形成についての共同研究打ち合わせ会議」

日本動物学会論文賞 6件

Tetsuya Kawahara and Ichiro Yamashita: Estrogen-independent ovary formation in the medaka fish *Oryzias latipes*. Zool. Sci., 17 (1): 65-68 (2000)

Katsuhisa Uchida, Toyoji Kaneko, Hiroaki Miyazaki, Sanae Hasegawa and Tetsuya Hirano: Excellent salinity tolerance of Mozambique tilapia (*Oreochromis mossambicus*): Elevated chloride cell activity in the branchial and opercular epithelia of the fish adapted to concentrated seawater. Zool. Sci., 17 (2): 149-160 (2000)

Mahito Ohkuma and Motoyuki Tsuda. Visualization of retinal proteins in the cerebral ganglion of ascidian, *Halocynthia roretzi*. Zool. Sci., 17 (2):161-170 (2000)

Hideo Nakazawa, Shinji Kaji and Susumu Ishii: Oscillatory electric potential on the olfactory epithelium observing during the breeding migration period in the Japanese toad, *Bufo japonicus*. Zool. Sci., 17 (3):293-300 (2000)

Shigeru Kuratani and Naoto Horigome: Developmental morphology of branchiomic nerves in a cat shark, *Scyliorhinus torazame*, with special reference to rhombomeres, cephalic mesoderm, and distribution patterns of cephalic crest cells. Zool. Sci., 17 (7), 893-909 (2000)

Nahoko Isogi, Ritsu Kamiya and Kenjiro Yoshimura: Dominance between the two flagella during phototactic turning in *Chlamydomonas*. Zool. Sci., 17 (9), 1261-1266 (2000)

5. 研究及び調査

1. 動物学資料保存に関する調査
2. 将来の動物学のあり方に関する調査
3. ガイアリスト21計画
4. 教育生物学用語の検討
5. 実験動物取り扱いに関する指針
6. 研究動物提供プロジェクト